

連絡網にて会員各位（各グループ企業）へ配付、FAX方お願いいたします。

発信番号：DNSC - 278 発信日：2003年4月21日 原稿枚数：1

会員各位（総経理・所長、駐在員の皆様）

ご家族の方にもお知らせ下さい

発信：大連日本商工クラブ
事務局長 加藤 康二

重症急性呼吸器症候群（SARS）に関しまして、日本人医療相談室横矢医師より下記の通り注意喚起がありましたのでお知らせいたします。

SARS に関する注意事項

前回の注意事項に合わせて以下の情報を追加・変更いたします。

SARS とは？

2003年2月以降、香港、ベトナムのハノイ等で原因不明の重症急性呼吸器症候群（SARS）が発生し、今日に至っています。（中国南部でも同時期に発生していると考えられるが正式な発表はなかったようです。）症状としては38 以上の急な発熱、咳・息切れ・呼吸困難感などの呼吸器症状があげられます。

北京での感染拡大

北京での感染者数が339人（死亡者数18人）及び感染を疑われる患者が402人との発表が昨日になされました。罹患率から考えるに高率とは言えませんが北京と経済的結びつきが強く直行便が週に68便及び広州・香港に週に20便以上ある現状から考えるに今後の大連での感染者の動向は注意深く見守っていかねばならない状況となりました。

感染対策

- (1) 手洗い・うがいの励行など通常の感染予防策を行って下さい。
- (2) 人混みはできるだけ避けて下さい。
少なくとも状況が沈静化してくるまでは不要・不急の外出は避けるべきでしょう。
- (3) 38度以上の急な発熱、咳、息切れ、呼吸困難などの呼吸器症状が出現した場合、または出張先などでSARSが疑われる患者、もしくはSARSの可能性のある患者と接触した場合にはすぐに最寄りの医療機関で受診して下さい。
その際は、鼻と口をマスクで覆い医療機関を訪れて下さい。
- (4) 4月2日よりWHOは香港及び広東省への不要不急以外の渡航を延期することを検討するよう勧告を出しました。
- (5) 北京の感染者数が大幅に増加したことを受けてWHOより渡航延期勧告が出される可能性があります。また現時点では勧告は出されていませんが出張・旅行を含めてやはり不要・不急の場合を除き北京・その他感染の流行が疑われる地域への渡航は避けるべきでしょう。
(これは私見であり、現在のところWHOから正式な見解は出ていません。
その他の地域の関しては今後の感染動向を見ながら追加していく予定です。)

大連の感染状況及び今後の感染拡大の可能性

遼寧省でSARS患者が一人出たようです。また、一般論では感染症というのは対数的な増加を示しますが、現時点では今後の感染状況の広がりには予想できません。

しかしながら大連での感染者の動向について強い警戒が必要と考えます。

大連中心医院日本人医療相談室